

## 旭町小学校との 交流会

9月19日に旭町小学校の年生との交流会が行われました。デイケアには25名の生徒さんが来られました。子供達が到着すると利用者さん達は笑顔で迎えて下さいました。交流会は①あいさつ②肩たたき・握手ゲーム③競争について④お礼の歌の順に進められました。自己紹介をした後、子供達が利用者さんの肩を揉んだり、じゃんけんゲームをして遊びました。戦争についての質問では、「防空壕の中はどのような感じでしたか?」「空襲警報がなるとどうしましたか?」「戦時中の食べ物はどうでしたか?」「赤紙が来たときに出征しない人はいなかったのですか?」などたくさん質問が子供達からきました。その質問に利用者さんは、「防空壕の中は暗かった。防空壕は町単位や家単位で作ったよ。」「空襲警報がなると電気を消して防空壕へ逃げ込んだ。不

安でいっぱい：生きた心地がしなかったよ。」「戦時中は芋や大豆、麦等を食べ白米なんてなかなか食べられなかったよ。お腹いっぱいなんて食べられなかったよ。」「赤紙が来て出征しない人なんていなかったよ。」「一つ一つ丁寧に答えて下さいました。ある一人の男の子は「政府が戦争を決めたときのような気持ちでしたか?」と鋭い質問をされました。その質問に「なんで戦争なんですか?」と聞いたら「でも、そんなこと言える時代じゃなかったよ。」「と答えて下さいました。」

十代の子供達が一生懸命考えてきた質問に、利用者さんは真剣に答え、そして自身の経験をお話して下さいました。戦争体験者が少なくなりつつある今、この交流会はとても貴重な時間でした。

初めまして、小沢です。宜しく願います。グループホーム勤務の小

## 新人紹介

初めまして、小沢です。宜しく願います。グループホーム勤務の小

## 介護体験を 聞く会



ホームページ  
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第152号  
平成26年10月25日発行  
発行所 (有) 明寿会  
住所 川崎区中島1-13-3  
電話 044-233-0061  
\*定例会は最終土曜日です。  
(今年12月は20日)

「デイケア室利用でリハビリ意欲が向上した女性について」

リハビリの目標がはっきりとした事で、生活の意欲が高まり、リハビリにも前向きになった。今では室内から外へ杖をつけて歩くまでになっている事例。

### 第153回介護体験を聴く会

- \*議題
- ①Iさんの事例検討
- ②デイケア・デイサービスの家族相談
- ③グループホーム運営推進会議

出席者(職員)：院長、柳田CM、太田、大坪、古谷、厚川、柏倉、山崎、飯田、高橋、漆原  
出席者(家族)：伊吾田さん夫妻、内田さん、菊池さん、東海林さん、関口さん夫妻、野々目さん、藤田さん

### ①Iさんの事例検討

\*検討の目的  
通所リハビリにて生活動作の獲得・介助量軽減を目標に行いご自宅でも「できるADL」を「していくADL」に変えていきご自分のやりたい目標に近づけるよう支援していく。

\*現状  
出身地：川崎  
利用開始日：平成25年5月11日  
氏名：Iさん女性(73歳)  
生年月日：昭和15年6月28日  
介護度：4  
利用状況：週3回柳田デイケア、週2回訪問リハ

趣味：パンフラワー、洋裁  
性格：温厚、努力家  
主介護者：夫  
既往歴：脂質異常症、腰部脊柱管狭窄症、脳出血  
\*現病歴：脳出血後遺症(右麻痺)  
内服薬：アムロジピン錠5mg(朝1錠)：心臓にかかる負担を減らす狭心症を治療する薬。身体末端や心臓の血管を拡張して血圧を下げる薬。  
ファモチジン錠20mg(朝1錠)：胃炎の症状を改善する薬。胃酸の分泌を抑える薬。  
エプランチルカプセル15mg(朝・夕1錠)：血圧を下げる薬。排尿障害を改善する薬。  
ベサコリン散5%(毎食後1包)：胃腸の機能を改善する薬。  
レキシン錠100mg(夕

## 交流風景



1錠)：けいれん発作を抑える薬。興奮を鎮める薬。痛みを和らげる薬。  
ベタヒスチンメシル酸塩錠6mg(毎食後1錠)：めまいを改善する薬。  
フォリアミン錠5mg(毎食後1錠)：葉酸の不足による貧血の薬。葉酸の不足を補う薬。  
\*生い立ち  
昭和15年に川崎に産まれる。川中島小学校・中学校を卒業し、高校に進学される。高校卒業後は洋裁の仕事をしされた。22歳で結婚され、23歳で長男、28歳で次男を出産される。その後は専業主婦で家事をしながら趣味のパンフラワーを行っていた。平成24年

## 年配者と手遊び



9月、意識障害と右半身麻痺で川崎幸病院に救急搬送された。左前頭葉皮質下出血により右麻痺となり、約半年間入院された。退院後、リハビリと社会交流を目的にデイケア利用となる。

\*デイケアでの様子  
利用当初は緊張して笑顔も少なく自ら発言する事もなかったが、リハビリに対しては「はやく良くなりしたい」「自分の事は出来るだけ自分でやりたい。お父さんの介護負担を減らしたい」という思いが強く、頑張っており組み立てていました。入院時リハビリは行って来たものの、実際にトイレに行く位は不安定で二人介助で行いました。ご本人の頑張りで少しず

## 第12回敬老文化祭

～昭和の時代を生き抜いた人々の歴史展～

日時：平成26年10月25日(土)午前9時～午後5時  
26日(日)午前9時～午後4時

会場：旧旭勇ストア(旭町商店街旭ドラッグ隣)  
(川崎区旭町2-24-9)  
入場無料

- 主催：介護体験を聞く会  
協賛：(有) 明寿会・柳田診療所
- 老人の体験を忘れない回展(原爆写真、第二次世界大戦の写真、空襲写真、沖縄戦写真など)
  - 柳田医師による認知症講演会(両日午前10時30分～)(認知症介護の入り口と方向について)
  - デイケア、デイサービス、グループホームの活動紹介(活動写真、利用者さん制作の作品展示)
  - 介護弁当展示、みそ汁試食、車いす体験、リフト車体験など

また、当日はケアマネジャー、介護福祉士が介護のご相談に応じます。お気軽にご相談下さい。



昨年の文化祭の様子

お問い合わせ  
柳田診療所 ☎ 044-233-0061

沢たつ子です。58歳にして初めての分野に飛び込みました。今まで27年間机に向かい数字とにらめっこし、計算や伝票発行、届出書類の作成など体を動かす事など皆無の毎日でした。でも、義母が足を骨折し、お世話しながらだんだんと体が弱っていく過程を見てきました。ひとつ体が悪くなると次々と悪い所が出てきて、入退院を繰り返していくうちに認知症の症状がでてきました。癌の手術をして床についてからはぼろぼろの状態になりました。私には長い週末やの時に義母のお世話をさせていただけでした。

事をそばで見ているに思った事は質問し、口ではなくシロウトの私がやる時に失敗しない簡単な方法など一生懸命に聞きました。今考えるといやな家族ですよね。側にはりついて作業を見ています。「やりにくいつたらありやしない」と彼女が思った事でしょう。でも私としてはやさしく暖かい、とても良くしてくれたい義母に私が出来る事を目一杯やらなくちゃと心に決めていました。着替

えさせるのも、シーツを替えるのも、おしめ交換も上手くいけません。四苦八苦で、やっとその時にきちんとした知識と技術を学び、介護される側とする側が共に楽で苦痛のないようにしたいと介護に興味を持ちました。13年も前の事です。今、やっとその機会が巡ってきました。資格とりたてホヤホヤの新人ですが、ご指導宜しくお願ひします。



つ立位が安定し、一人介助でトイレに行くことが出来るようになったり、車椅子の自走が出来る様になったり、麻痺側のコントロールが出来る様になりました。今まで出来なかつた事が出来る様になるにつれて「さんも明るくなり、笑顔が多く見られるようになりました。また、初めは平行棒で歩く事も難しくすぐに疲れていました。練習に練習を重ね、今では4点杖使用・軽介助で屋外歩行が出来る様になりました。デイケアの環境にも慣れて、楽しく通われていきます。

**\*自宅での様子**

デイケアで練習した生活動作を自宅でも生かせるように訪問リハビリを導

入し、練習しています。その結果、トイレでの介助量が減りご主人の介護負担が軽減されました。また、筋力も少しずつついてきているので、移乗動作などでも介助量が減ってきています。

**\*今後の方向**

目標は「自宅の2階に行くこと」です。目標に向かってデイケアでは玄関の段差を安全に乗り越える事と、自力でベッドに横になり寝返りが出来る様になる事など、生活に密着した動作を獲得し、ご本人が快適に過ごしていきま。その為に、ご家族も含め各事業所同士連携を図っていきたく思います。

**\*検討会より**

Iさんご主人：日に日に良くなっているのが見てとれる。脚の筋力が付いてきていると思う。励ましながらリハビリをしている。

**太田主任：**

最初は立つのがやっとだった。初めて外に出て歩いた時は職員みんな感動させられた。

院長：専門の理学療法士がついて外でリハビリできるようになってきている。

**太田：**

今はデイケアの外の段差を歩いてリハビリしている。

**柳田CM：**

病気になるって気持ちの浮き沈みはあったのですか。

**Iさん：**

ありましたね。柳田CM：どうやって乗り越えたのですか。

**Iさんご主人：**

やっぱり家族と本人の努力でしようね。

**院長：**

(玄関の段差があつて)自宅から外に出るのも課題ですね。デイケアでリハビリしたことを外や自宅で出来る様にすることが本家のリハビリになる。

**②デイケア・デイサービスの家族相談会**

東海林さん：今度グループホームに入居することになった。

院長：全部自分で見ようと思つても体はついていけない。本人との関係も悪くなる。施設で専門的

なお世話を受けるなかで、時々会いに行くほうがお互い良い関係ができる。

**関口さん：**

(離れて住んでいる)娘にはおばあちゃんにグルーブホームに入れるのかと言われる。

**院長：**

関口さんのところだけじゃなく、離れた親戚はみんな同じことを言う。実際に1週間でも一緒に暮らしてみたら大変さが分かる。嫁が親の面倒を見るのが当たり前だという風潮があるが、共倒れになつたり嫁が先に亡くなつたりするのを見てきた。

**③グループホーム運営推進会議**

高橋：8月3日に以前デイサービスを利用して頂いた方とおみこし見学を行いました。8月15日六郷花火大会をグループホーム屋上でご家族と一緒に楽しむことができました。



ご利用者では、石田さんが8月11日発熱があり臨港病院を受診され入院される。胆管が詰まりス TENT を入れる手術をされる。10月2日退院予定です(現在は退院されています)。盛さんが9月1日に尿路感染で入院(盛さんも現在は退院されています)。水分摂取によつて予防できるものなので同じ病気になるないように職員一同気を付けていきたいと思ひます。

グループホーム旭町 漆原



**生活歴を活用したアプローチとは？**

新規の利用者さんに対してアプローチする前に、認知症の利用者さんの対応として「生活歴」を活用する方法があります。

**医師や大工、先生、主婦・・・**

当たり前ですが、利用者さんにはいろいろな方がいます。「お昼を食べてから帰りましょう」と言つても、出ていつてしまふ人もいます。では、その人は本当に帰りたいのでしょうか。たとえば、仕事をバリバリやつてきたり、日本の高度経済成長期を支えてきた若年性認知症の人など、仕事が生きていだった利用者さんがいたとします。そういう人は、人生で一番輝いていた時の「仕事」が生活の一部で、今でも仕事をしたのかもしれない。出世して指示をする立場になつてきて、「社長」「親方」等と言われな

ればムツとする。しかも職員は、自分の3分の1程しか生きていない若者。本人からみれば、みんな子どもです。職員から何か言われたら「何でお前にそんなことを言われなければならぬのか」内心はそんな気持ちだと思ひます。

**また、主婦だった人から**

すれば、初めて来る場所なので、「こんなところにいる場合じゃない。子供にご飯を食わせないといけない」「買い物に行かないと・・・」という気持ちがあるのではないのでしょうか。こうした場合のアプローチは、一緒に買い物に出かけたり、孫の名前を事前に把握して、「お孫さんの○○さんが来ますから、おやつ準備をしていただけませんか」等があります。「なんで孫の名前を知っているの？」と尋ねてきたら、「昔おんぶしていたんです」「隣に住んでいたのです」等返事は何でもいと思ひます。そこから話を膨らませることが大切です。介護職がアプローチの仕

方を変えたり、生活歴を踏まえて相手の内的世界に入る努力をしなければ、認知症のある方への対応はうまくいかないことが多いです。

**次に挙げる事例が、困難な場面に直面した際のヒントや解決策になれば幸いです。**

「食後に入れ歯を洗わずに、怒り出すAさん」・「食後に入れ歯を洗わないおばあさん(Aさん)が歯を洗つて」と誘つても、洗つてくれません。しまいに手が出ます。ある日、お風呂場で入れ歯を自分で洗つていました。Aさんの生活歴を家族から聞いたところ「うちのおばあちゃん、昔から入れ歯をお風呂場で洗つていました」と教えてくれました。「入れ歯を洗わない、手が出るおばあちゃん」ではなく、「昔からお風呂場で歯を磨いていたおばあちゃん」だったのです。

「洗剤をつけずに食器を洗うBさん」・・・「生活リハビリが大切だ」といって、主婦だったお

ばあさん(Bさん)に、食器を洗うことを日課としました。Bさんを観察していると、洗う際に洗剤を使いません。「何回も言っているけど、Bさんは洗剤をつけないんだよね」「どうやったら洗剤をつけて洗つてくれるかしら」職員間でそのような話があり、そこで生活歴に視点をおいてみると、昔の人は食器に洗剤をつけて洗つていなかったのです。「自分がそうしてきたのだから」、本人にとつて「普通」であり、洗剤をつけるほうがおかしいのです。そのなかで「Bさんも認知が進んできたのかしら」という話が出てくれば、ケアは間違つた方向に進んでしまひます。

人はそれぞれ違います。事例は因果関係ととられやすいですが、実際は相関関係だということだけを前提に読んでいただければと思ひ掲載しました。ご飯を食べた後のお茶碗に、お茶を入れて飲む。昔の人は、洗いやすくすのためにそうしてしまひました。生活の知恵ですね。



柳田居宅介護支援事業所 飯田ケアマネージャー